

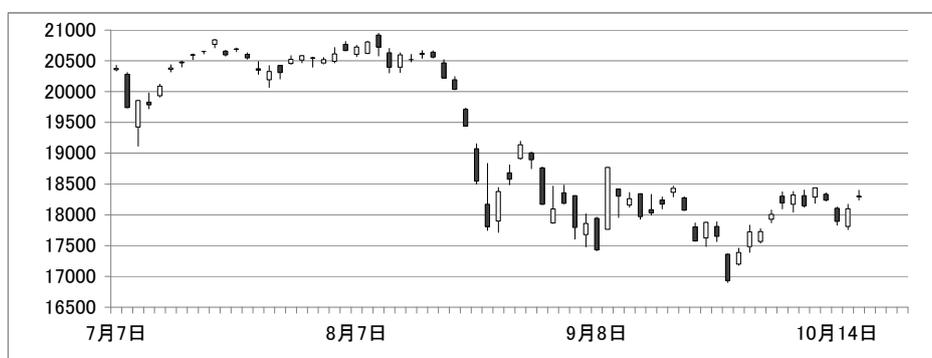
株式市場概況

先週の動き（10月12日～10月16日）

週初は米国企業の決算が予想を下回ったことや、中国の貿易収支の輸入の大幅悪化などが嫌気され、日本株は売り込まれ 18,000 円を割り込む展開となった。しかし、18,000 円を割り込むと積極的な買いが見られたことや、米国の銀行の決算が好感され米国株が上昇したことなどを要因に、週末にかけては戻りを試す展開となった。しかし、週初の下落を全て取り戻すことは出来ず、日経平均株価は前週末比-0.8%の 18,291 円で一週間の取引を終えた。

日本の工作機械受注速報（9月・前年同月比）は-19.1%と前月の-16.5%よりも悪化した。内需は前月の+13.8%から-2.3%と大幅減速、外需は前月の-31.2%から-28.6%と小幅改善したものの、前年同月比での大幅悪化が継続した。5月までは前年比で二桁の伸びを示していた指標が急速に悪化しているため、製造業関連の業績に対して不安感を持たせる内容となった。中国の貿易収支（9月・人民元建て）は輸出が前年比-1.1%（予想-7.4%・前回-6.1%）、輸入が-17.7%（予-16.5%・前-14.3%）となった。輸入の大幅な減少を懸念する声がある一方で、商品価格の下落を受けての減少であり、数量自体は変化なく、懸念する必要はないとの声もある。

日経平均株価（2015年7月7日～）



セクター別では空運、水産農林、医薬品などの上昇が大きくなる一方で、鉱業、鉄鋼、海運などが下落した。前週の上昇が高かったものが売られ、前週上昇率が低かったものが買われた。

スタイルインデックスでは、REITが上昇トップとなった。下落ではコア30が目立つ。機械や素材、銀行株への売りが大きかったことが要因だった。

表1. セクター、スタイル・インデックス動向

セクター動向(先週末比)			各種国内株式指数動向(先週末比)		
空運	5.17%	鉱業	-4.77%	REIT指数	0.25%
水産農林	3.46%	鉄鋼	-2.79%	TOPIXスモール	-0.36%
医薬品	3.25%	海運	-2.41%	ミッド400	0.08%
その他製品	2.54%	銀行業	-2.07%	東証2部	0.00%
パルプ紙	1.76%	機械	-1.79%	日経平均株価	-0.80%
陸運	1.29%	不動産業	-1.67%	マザーズ	-0.09%
				TOPIXバリュー	-0.86%
				TOPIXL70	-0.25%
				コア30	-1.58%
				TOPIXグロース	-0.36%

今後の注目点

日米で弱い経済指標が目立つようになり、米国では利上げの可能性が低くなり、日本では追加金融緩和期待が高まり始めている。そのため、相場は底堅い展開が継続するだろう。

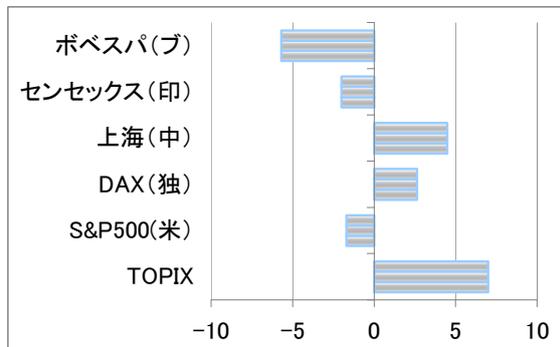
米国の企業決算は強弱混ざった内容であるため、明確な方向性を出す材料とはなりにくい。日本企業は今週から徐々に決算の発表が始まる。1Qの状況を見ていると、決算は良好だった。中国経済悪化の影響が懸念されるが、そのあたりは直近の下落で織り込んでおり、それ程ネガティブには捉えられないと見られる。

目先、日本で注目されるのは10月30日の日銀政策決定会合だ。そこでの追加緩和が期待されるが、実施されない場合、一旦、日本株が下落するような展開も考えられるだろう。

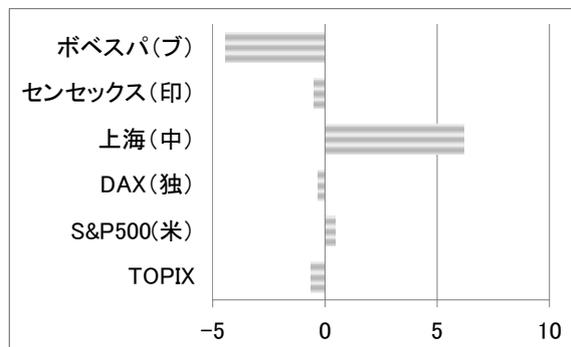
また、米国では債務上限問題が再び話題となっており、このままでは11月前半で財務省の資金が枯渇するようで、問題が解消されるかに注目が集まる。

資料 各国株価動向

年初来上昇率（% 値は16日引け時点）



前週末比（% 値は16日引け時点）



株式市場需給動向（10月2週：10月5日～10月9日）

10月2週の投資主体別売買動向は海外投資家、投資信託、信託銀行が買い越し、個人、自己などが売り越しとなった。裁定買い残高は1746億の増加、信用買い残高は1587億円の減少となった。信用買いの評価損益率は約4%改善し、-10.95%となった。

投資主体別売買動向（2015年10月2週）

	現物（億円）	先物（億円）	差引（億円）
自己	-252.02	-532.44	-784.46
委託	342.73	306.52	649.25
自己・委託合計	90.71	-225.92	-135.21
法人	1783.59	337.42	2121.00
個人	-3308.71	-996.80	-4305.51
海外投資家	2102.98	1077.76	3180.74
証券会社	-235.12	-111.85	-346.97
投資信託	85.16	764.51	849.66
事業法人	332.69	10.66	343.35
その他法人	-29.70	-35.98	-65.68
金融	1395.44	-401.77	993.67
生保・損保	-151.50	-8.71	-160.21
都銀・地銀	-112.97	194.19	81.22
信託銀行	1496.69	-566.51	930.18
その他金融機関	163.22	-20.74	142.48

（価格データはブルームバーグによる）

光世証券 小川 英幸

本資料は、情報提供のみを目的として作成したもので、いかなる有価証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。また、一般的あるいは特定の投資助言を行うものでもありません。本資料は、信頼できると判断した情報源から入手した情報・データ等をもとに作成しておりますが、これらの情報・データ等また本資料の内容の正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。情報が不完全な場合または要約されている場合もあります。本資料に掲載されたデータ・統計等のうち作成者・出所が明記されていないものは、当社により作成されたものです。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時のものであり予告なしに変更されます。運用方針・資産配分等は、参考情報であり予告なしに変更されます。過去の実績は将来の成果を予測あるいは保証するものではありません。

光世証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第14号 加入協会/日本証券業協会